



賛同いただける皆さまへ

賛同いただける場合は、氏名（団体名）、都道府県名に加えて、「六ヶ所再処理工場のガラス固化再開試験における『流下停止事件』に関する原子力安全・保安院への要望書に賛同します」と明記のうえ、メールかファックスで今回の取りまとめ団体である「美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会」へお送りください。

10月初旬に提出の予定です。賛同募集の締め切りは9月30日です。

「美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会」

メールアドレス mihama@jca.apc.org/mihama

☆ メールの件名は「六ヶ所要望書」としてください。

FAX : 06-6367-6581

グリーンピース・ジャパンを含む複数の団体による呼びかけ文は、次ページをご覧ください。

グリーンピース・ジャパン

六ヶ所再処理工場のガラス固化再開試験における「流下停止事件」に関する
原子力安全・保安院への要望書 への

賛同団体・賛同個人になってください

去る7月2日、六ヶ所再処理工場で再開したA溶融炉のガラス固化試験は、わずか半日で失敗に帰したことが明らかになりました。溶融ガラスの流下停止という、まったく予想もしなかった事態が発生したためです。もし回復できない原因によるものであれば、このA溶融炉は使用不能となり廃炉にせざるを得ません。

しかし日本原燃は、8月19日公表の「対応状況」で、原因調査の範囲を意図的に限定しながら「復旧作業」は急ぐという、スケジュール優先の姿勢を見せています。流下停止の原因にかかわる物質の成分調査などは一切行おうとしていません。他方では、燃料のせん断や放射能放出などは相変わらず継続しています。

そのため、別紙の原子力安全・保安院宛ての要望書を提出したいと考えます。ぜひ賛同団体および賛同個人になっていただくよう呼びかけます。この呼びかけ文と要望書はメールなどで次々と広げていただくよう期待しています。その間に学習会や討論会なども行い、多くの人々の声を集めましょう。

記

◆賛同団体、賛同個人について

- ・賛同団体、賛同個人とも、名前と都道府県名を記入してください。
- ・賛同団体、賛同個人とも名簿を保安院に提出します。賛同団体はホームページなどで公表します。しかし、賛同個人については数だけを公表し、個人名はホームページなどではいっさい公表しません。この点、あらかじめご了解をお願いします。

◆要望書の提出日及び賛同募集の締め切りについて

- ・提出日は、10月初旬に予定する保安院交渉の日とします。
- ・賛同団体・賛同個人の募集の締め切り予定日を9月30日とします。
- ・賛同団体、賛同個人の集約は各呼びかけ団体が行い、最終集約は「美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会（美浜の会）」が行います。美浜の会にメールまたはFAXで直接知らせていただいても結構です。

美浜の会：メールアドレス mihama@jca.apc.org/mihama

FAX：06-6367-6581

★なお、この要望書提出までの間に日本原燃が報告書をだすなどによって事情が変わったときは、要望書とは別に、それを補足する何らかの行動を呼びかけ団体の責任で行うことはご了承ください。

2008年8月22日

六ヶ所再処理工場のアクティブ試験を憂慮する全国の市民
呼びかけ団体一同